DIARIO1 N. 2 128 S. Paulo, 12 de Março de 1940 NOTICIAS DO BRASIL Redacção e Administração Rua Fagundes, 196 - Caixa, H

伯剌西爾時報
發行所 伯剌西爾時報社
電話 七-四六〇七
社長 黒石清作 Director M Sameshima
購讀料 一ケ年 十弗 六弗 半ケ年 三弗
廣告は御照會次第御返信
珈琲 サントス四番 十キロ 一七、五〇〇 リオ七級 十キロ 一五、五〇〇
爲替 對日 四、六八〇 郷里送金 五、五〇〇 對米 一九、八一〇 對英 七七、五六〇

ソ聯 フインランド

兩國和平交涉巡り 英佛躍起の妨害工作始む

對獨封鎖とソ聯牽制に破綻來す

（ストツクホルム十日同盟）安達特派員發、ソ聯フインランド戰爭の和平工作を繞る各國の動きはモスコー、羅馬、ストツクホルムを中心として活氣を呈しつゝあり、既にモスコーではソ聯フインランド兩國代表者間に直接交涉が開始されてゐるが、一方に於てはソ聯フインランド和平交涉の成立を喜ばない英佛兩國の妨害工作が、漸次積極化し、スエーデンに對する攻撃も露骨となつて來た。即ち倫敦、並に巴里では、英佛兩國政府とフインランド、スエーデン兩公使との往來が頻繁となり、英佛新聞のスエーデン攻撃並に英佛の對フインランド援助氣運が濃厚となつたことはこれを裏書きするもので、英佛としては數ケ月に亘る苦心のフインランド援助が、ソ聯フインランドの和平成立によつて水泡に歸すると共に、對獨逸封鎖並に獨ソ勢力索制策も破綻を來すことゝなるので、極力これを妨害せんとしてゐるものと觀られる

ソ フ 兩國和平は絶望か

フインランド側の見解

【ヘルシンキ十一日同盟】フインランド新聞は、九日一齊にソ聯ノフインランド和平交涉開始の事實を公表したが、十一日朝に到り、フインランド國民の間には、和平交涉が或は失敗に終るのではないかとの危惧の念が急に昂まつて來た、その理由としては次の二つの事實が擧られてゐる

一、モスコー放送局のフインランドに關する報道は過去數日來沈默を續けてゐたが十日深更に到つて俄に放送を再開し、フインランド政府當局者の講演を批判し特に日下モスコーに於てソ聯當局と折衝に當つてゐるフインランド側代表に對して論難攻撃を加へた

一、右放送と前後して、フインランド軍司令部は、數日來その活動を一段と活潑化してゐたソ聯空軍が、十日更に大規模の空襲を開始し多數の非戰鬪員を殺戮し、非軍事施設を破壊した旨發表した

【ヘルシンキ十一日】十一日に至りフインランド國民間に十日來ソ聯側が大規模の空襲を開始した事と、モスクワ放送局がフインランド政府放送でモスクワにあるリチ首相に對し論難攻撃を加へ出した事實とは、フインランド國民の危惧の念が急に和平交涉が失敗に終るのではないかとの危惧の念が急に昂まつて來てゐる

O governo Finlundez annuncion officialmente a partida de uma delegação encarregada de negociar a paz em Moscou.

フインランド代表 ソ聯に招かれモスクワへ

【ヘルシンキ十一日同盟】芬蘭とソ聯はスエーデン政府の好意により兩國和平の可能性につき極秘裡の處双方の主張を糺すため、ソ聯は直接和平會議を開かんとの意圖の下にフインランドへ代表者派遣方を要請せる處フインランドは之に應じて代表委員として十一日を送ることとなりモスクワ放送局は十日夕、ソ聯フインランド兩國は目下直接和平交涉を行つてゐる旨、左の如く發表した

【ヘルシンキ十日同盟】フインランド政府は十日夕、ソ聯フインランド兩國は目下直接

ソ聯より和平條件提示

◇……フインランド側決定未だし

ルドルフ。ワルデン將軍等より成るフインランド代表は、去る六日夜モスクワ向け出發、既にモスクワに於てソ聯側は、我が代表に對し和平條件を提示したが、フインランド政府は、右に關する決定はなしてゐないと

英佛汽船衝突沈沒

英東南岸の椿事

【倫敦十一日同盟】英海軍當局發表、去る五日英國東南方海面に於て佛國汽船シナイ號は英國客船テウルストン號（二千噸）と正面衝突をなし佛國船シナイ號は即時沈沒し英國船も其後機雷に觸れ沈沒した

軍、政、經の各分野 獨伊の意思完全疏通

獨外相、再び羅馬訪問か

【羅馬十一日同盟】今次の獨伊會談は十日に卽續き十一日のムッソリニ、リッベントロップ第二次會談により、大體終了、リッベントロップ外相は十一日夜ローマ出發伯林に向け歸還の途に就くが、十一日の會見では、ソ聯の北方中東歐對策變更と、英佛のバルカン近東攻勢によつて喚起されつゝある情勢の新展開への對策に就き、政治、軍事、經濟の各分野に亘つて充分な意思の疏通を遂げ、更に獨伊兩國の經濟提携に就ては一、バルカン、黒海方面に於ける經濟開發への協力強化

一、獨逸石炭の對イタリア陸上輸送計畫の確立

一、獨ソ勢力索制策も破綻を來すことゝなるので、極力これを妨害せんとしてゐるものと觀られる

英佛揃つて トルコに示威工作

【イスタンブール十日同盟】英佛兩軍參謀の見透しに就き隔意なき意見交換をなし、ムッソリーニ首相が十六、七日頃ウエルズ氏と再度會見することに關し打合せを行つた模様である、然してソ聯フインランド紛爭のスカンヂナビア波及防止、伊太利石炭輸出問題、バルカン情勢に關しては第二次會談で討議さるべく、第一次會談は十一日に行はるゝ豫定でチアノリッベントロップ兩外相間だけで行はれるものと見られてゐる

米國務次官 空路ロンドン着

【ロンドン十日同盟】巴里訪問を了へたウエルズ米國務次官は十日午後零時十分空路ロンドンに到着した

棉花 【東京十一日同盟】

棉花後場寄り八、〇〇〇、八、〇〇〇ナシ八一一五、ナシ、ナシ八二〇五

米國務次官は本日午前九時五十分空路巴里を出發し倫敦に向つた、同氏の便乘せるボルゲ號は三機の佛國航空隊に護衛せられ、一機の英國機の案内にて正午少し前無事倫敦に到着し駐英ジョセフ米國大使其他の出迎へを受けた

日本の對支行動は侵略〃

この迷夢醒めざれば——日米國交は行詰る

（東京十一日同盟）須磨情報部長は十一日の外人記者團との定例會見席上、對米關係に就き大要次の如く語つた

有田グルー會談の開始に就ては、現在の處發表はないが、對米關係に關しては我方としては今まで出來得る限りの總ゆる手段方法を盡した、從つて日米關係に新しい局面を開くためには、今度は米國側から明瞭な何等かの意志表示があるものと期待してゐる、元來米國の對日感情惡化の原因は自分の在米當時からの印象から云へば二つある。卽ちその一つは米國の在支權益が日本の行動によつて破壊されたとの見方から生じたものであり、その二つは、廣義問題に關するもので日本の對支行動を侵略的とする考へから生じたものである、若し權益問題のみとするならば日本としてはこれに必要な一切の手段は既に講じ盡してゐるので、これに關する限り敢て至難なことは無いと思ふ、然し廣義問題に關聯して他まで日本の行動を侵略者とするのであればかゝる謂れ無きことに對しては當然忿懣を感ぜざるを得ない

米次官 空路倫敦へ到着

【倫敦十一日同盟】ウエルズ米國務次官は十一日午前ベネチア宮に於ける、ムッソリーニ首相とリッベントロップ獨外相との會談は一時間十分に亘り行はれたが、會談に關するウエルズ國務次官との會談

須磨情報部長 外人記者團に語る

日米關係は長期

米大使、モスクワで活躍

モロトフ外相と再度會見

【モスコー十日同盟】スタインハード駐ソ米大使は、八日モロトフ外務人民委員と會見ソ聯、フインランド和平問題に關する情報を聽取したが、十日午後再度モロトフ委員を訪問し會談を遂げた、スタインハート大使の動きは、數日來俄に活潑となつたウインテルスエーデン公使の活動と共に、モスコー外交界の注目を惹いてゐる

獨伊の契り搖ぎなし

獨外相の訪伊に——ローマ各紙の報道

今次羅馬會談は同盟國たる獨伊兩國の密接な同盟關係は昨年のミラノ、サルツブルプ、ベルリン各會談で兩國間に協定された事が其まゝ嚴存して居り、兩國の同盟關係は嚴然として存在してゐるといはれる

もう駄目だと觀念 獨汽船（五、六〇〇噸）放火自沈

カリビヤ海で英艦に捕まる

【倫敦十日同盟】英海軍省發表、英巡洋艦はカリビア海上で獨逸の新造優秀貨船ハノーバー號（五、六〇〇噸）を拿捕せんとした所、同船は火を放つて自沈した

から覆へすことが出來る」と英海軍は豪語してゐる

日英で東亞を分割？

日米太平洋で戰へば——英國は嚴正中立か

日英間には既に一九三四年五月に締結せる秘密協定が存在し、右新協定はこれを改訂したものであるが、同協定內容は次の如しといはれてゐる

一、英國は北支における日本の特殊地位を承認す

一、日本は南支における英國の支那權益を尊重す

一、日本は南洋方面へ軍事的勢力發展を企圖せず

一、英國は日本の東亞新秩序竝に日本の南支及び支那における政治的、經濟的權益を承認す

一、英國は日本の南太平洋における某島嶼に對する要求を支持す

一、英國は諸外國の滿洲國承認を勸誘斡旋す

一、日英兩國は世界の貿易市場を公平に分割す

なほ右秘密協定中には別に若し日米兩國が太平洋において戰端を開いた場合英國は嚴正中立を守るといふ一項も含まれてゐるといはれる

米國 疑心暗鬼の政界

【華府特電】英下院議員の視察より歸るところによれば昨年六月日本及び英、米、佛の間に東洋における勢力範圍竝に決定の秘密協定が成立するに至つたといはれ、各方面に多大の衝動を與へてゐる、尤も右に關する疑問點については今のところ疑問視されてゐるが、傳へられる協定內容は次の如し

一、英國は日本の支那權益を妨害又は牽制せず

一、日本は東洋の英領土を侵害せず

一、日本は南洋方面へ軍事的勢力發展を企圖せず

一、英國は日本の東亞新秩序竝に日本の南支及び支那における政治的、經濟的權益を承認す

一、日英間には既に一九三四年五月に締結せる秘密協定が存在し、右新協定はこれを改訂したものであるが、同協定內容は次の如しといはれてゐる

一、英國は北支における日本の特殊地位を承認す

一、日本は南支における英國の支那權益を尊重す

一、日本は南洋方面へ軍事的勢力發展を企圖せず

一、英國は日本の東亞新秩序竝に日本の南支及び支那における政治的、經濟的權益を承認す

一、英國は日本の南太平洋における某島嶼に對する要求を支持す

一、英國は諸外國の滿洲國承認を勸誘斡旋す

一、日英兩國は世界の貿易市場を公平に分割す

なほ右秘密協定中には別に若し日米兩國が太平洋において戰端を開いた場合英國は嚴正中立を守るといふ一項も含まれてゐるといはれる

漁區競賣に絡んで ソ聯の非友好的態度

我漁區を落札奪取

【浦鹽十一日同盟】露水組合果本年度露領漁區規劃は日本側三百五十三漁區に對し、ソ聯側は三百九十となり、我漁區を落札奪取せるソ聯側の態度は頗る遺憾とされてゐる

獨外相、ムソ首相と第一次會談

【羅馬十日同盟】十日午前ベネチア宮に於ける、ムッソリーニ首相とリッベントロップ獨外相との會談は一時間十分に亘り行はれたが、會談に關するウエルズ國務次官との會談を中心として、歐洲情勢の見透しに就き隔意なき意見交換をなし、ムッソリーニ首相が十六、七日頃ウエルズ氏と再度會見することに關し打合せを行つた模様である、然してソ聯フインランド紛爭のスカンヂナビア波及防止、伊太利石炭輸出問題、バルカン情勢に關しては第二次會談で討議さるべく、第一次會談は十一日に行はるゝ豫定でチアノリッベントロップ兩外相間だけで行はれるものと見られてゐる

あばれ大名（鎖上連映畫化）

（五十五）（浪花の巻）

久我荘多郎 倉藤秀彌畫

蜘蛛がかり（四ノ一）

「もしものことがあつたら、また俺らが、日那から大目玉を喰ふんだが……」

「どうしたんですよ？——とにかく、鯰七さん。こつちへはいんねえ」

「うむ」

表へ立つてゐても仕方がないから、鯰七、由松の言葉に從つて戸口をくゞつた

奥座敷へ通つたが、座へ着かうともせず、ウロ〳〵歩き廻つて

「さうなんだ　俺はかう呑氣にしてゐられる體ぢやねえ。チエッ、先生たちはまた、今夜に限つて何處へ行つたといふんだ」

苛立たしさうに吐き出すのだ

由松が、その場奮した委を出て行つた

ガラ〳〵とまた戸の開く音がして、あわたゞしく人の駈出す足音が聞えたのは、二三人、由松と一緒に四方へ飛んだものだらう

あとに鯰七、綺麗に片付いた座敷に唯ひとり、ポツンと座つて待つてゐたかと思ふと跳び出したやうに身に起してあちこちへと歩き廻る。心がいら〳〵してぢつと一ヶ所に落付いてゐられないのだ

待つ間は永い、一分一秒が總つのも、今までの何倍にも感じられる

時間にして、十五分か二十分、戸が開いて人聲が聞えて來たからいよ〳〵加藏の心を辛勞させてくたびれてゐた鯰七は、その音を訊いて、飛び立つ想ひで店の間へ駈出した

が、彼、そこの上り框へ、凝然として立ちすくむのだ。

といふのは、先登にはいつて來た佐分利一學はとにかくあとに續く樞密院平馬が、血の乘れる左脚を、痛さうに支へてゐるからだ。しかも、さつき出て行つた由松に背負はれた東條隼人が、ウーム、ウーム、と虫の息をもらして醜つて來た。そのうしろにはお島愛に手を執られたお由良の、蒼白の顏がつゞいてゐる

「ど、どうしたんです？　先生」

と、鯰七は、自分の方の大事な用といふのも打ち忘れて息をはずませた

佐分利一學　蒼ざめ切つた顏でチラリと鯰七を見て

「殘念だが、支倉大三郎とたゝかつて、斯くの通り、あざやかな敗北だ」

「エッ、支倉大三郎ですつて？」

一同は、ソロ〳〵と奥座敷へはいつて行く

潮汕地區包圍掃蕩戰
愈々最後猛攻へ移る

（汕頭十日同盟）潮汕頭地區殲滅戰は、愈々仕上期に入り、北島部隊は九日朝突如鮀江を渡河して對岸の敵を奇襲、狼狽する敵を包圍圈内に追込みつゝあり、一方楓慶河沿岸の敵トーチカ陣地を攻略した田浦、仁禮、酒井、町田各部隊は、九日拂曉相慶の新陣地に後退した敵を追撃して、忽ちこれを占領し、一部は北方古港に（浮洋北西三キロ）迂回して敵の退路を完全に遮斷した

至妙の電撃作戰
掠奪、暴行、重稅の生地獄から
「今は〝皇軍信賴〟への民衆

【廣東十日同盟】今次潮汕地方の敵殲滅戰は作戰の至妙と疾風迅雷の猛進撃に、僅か三日を出ですして、輝かしき戰果を收めたが、本作戰は曾つての大英、信陽の兩作戰と相並んで包圍殲滅の好範例と云ふべく、敵が過去數ケ月に亘り民衆の食物を奪ひ、負擔し切れぬ重稅を賦課し、壯丁を懲發して強制的に築かせた多數の陣地も、日本軍の前には守り得ず脆くも拋棄せる事實に對し、支那民衆は今更ながら蔣介石の、デマ宣傳の實情をハッキリ認識、皇軍への信賴を益々昂めてゐる

山西抗爭發火點へ！
中共側〝じり押し〟の攻勢
蔣麾下軍も今や耳藉さず

【北京八日同盟】山西北西部に於ける國共兩軍對時の態勢は、刻々發火點に向ひつゝあるが、共產軍の山西集結は着つて中共の呼號せる甘肅、寧夏、山西を連ねるソビエット區設定の夢を實現するに先立ち、差當り陝西北部、山西北部を晋東地區に出づる、赤色廻廊を確立せんとするは明かだが、同浦綫沿綫の豐饒地帶を追はれ、僅に山西省西部を地盤として殘存保持に汲々たる閻錫山麾下山西軍としては、この共產軍の攻勢を座視する能はず、自己保全に鑑み斷然攻勢を採るに至つたものと見られる、然して今回の兩軍抗爭は從來北支各地に繰返された軋轢とは比較にならぬ重大性を有し、帶趨をしてその對處策に窮せしめてゐるが、今これに對する中共及び重慶の動向を見るに

一、毛澤東、朱德等の中國紅軍系は飽まで實力により山西攻勢を企圖するものゝ如くである

一、又陳紹禹、秦邦憲、張聞天等の現在中共軍は當境地區に勢力を張つてゐる國際共產黨中華代表部を通じモスクワと緊密に聯絡しつゝ紅軍系に便乘せんとしつゝあり

一方蔣介石麾下の各軍は、國共關係破裂のない以上は次第に窮地に立つべきを豫想して內心穩じない態度を採りつゝあるため、次第に毛澤東等實力派のため壓迫され蔣の妥協的態度にも拘らず愈々武力衝突の方向に驀進しつゝある

右に關し、我が陸軍報道部長は十日午后左の如き談話をなした

冬季攻勢は戰線主るところ完膚なきまでに壓敗を喫したが、尙も最前面を確保し、民衆殊に共產軍の擾亂を防止して、戰春以來エッ東地區及第六師、獨立第六旅、保

〝大言壯語の宣傳〟も
我實力の前の迷夢〟
陸軍報道部長談發表

安第五、潮陽國民大隊、同第二兵團、挺身第一縱隊等の殘軍數二万を狩り立て我軍に累々の痛棒を受けたるも督戰これ努め執拗にも反復

反攻を試みると共に二月下旬以來潮陽方面に於る戰勢を大々的に宣傳した、玆に於て我軍は好機を逸せず一大鐵槌を加へ、同方面の敵軍隊を捕捉殲滅敵の企圖を根底より挫折せしむるため隱忍持久敵を抑留すると共に新鋭大兵團を增加して一擊殲滅を計つたのであるが圖より地域の占領や戰線地城擴大の如きは何等考慮せざることは從來の通りである、然して擊軍一度起つて攻勢に出づるや鐙袖一觸僅に三日にして同地一帶に瀰漫してゐた敵を勦滅し、今や凱歌を奏しつゝ殘敵を掃蕩すると共に敵を完全覆滅中である、此によつて敵が大言壯語宣傳した潮陽方面の戰勢も、今や事實の前には一膊の迷夢と化したのである

興亞院華北連絡部
第一局（政務）南京移駐

【東京十一日同盟】興亞院で應すべく、新政權樹立を機に現在の一連絡部第一局（政務）の南京移駐を考究中であるが、而して文化面に關係

汪精衞氏「運動結實」への第一聲！
近く和平宣言を發表
★……旬日內には首都南京乘込みか

【上海十一日同盟】重慶の中國々民黨第六次全國代表大會に於て、中央政治會議召集を議決した汪精衞氏は中央政治會議を前にして、近く和平宣言を發表、曾島曾滅以來一路邁進し來つた中央政府樹立運動の總仕上げを爲すものと見られるが、これに對し日本側に於ても首相の名で宣言を發表しこれに答へるものと期待されてゐる、而して中央政治會議の開催地に中央政府樹立の具體的準備工作に關して九日漢口より重慶に入つた一方、政府の機構、人事その他政治工作も九分通り完了を見、汪精衞氏も旬日の內には首都南京に乘込むものと想定されるに至つた

汪精衞氏「運動結實」への第一聲！
近く和平宣言を發表
★……旬日內には首都南京乘込みか

【上海十一日同盟】重慶の中國々民黨第六次全國代表大會に於て、中央政治會議召集を議決した汪精衞氏は中央政治會議を前にして、近く和平宣言を發表、曾島曾滅以來一路邁進し來つた中央政府樹立運動の總仕上げを爲すものと見られるが、これに對し日本側に於ても首相の名で宣言を發表しこれに答へるものと期待されてゐる、而して中央政治會議の開催地に中央政府樹立の具體的準備工作に關して九日漢口より重慶に入つた一方、政府の機構、人事その他政治工作も九分通り完了を見、汪精衞氏も旬日の內には首都南京に乘込むものと想定されるに至つた

陸軍記念日

去十日は三十六年前の奉天大會戰に於る大勝を記念する第三十五回陸軍記念日に當るが此の日閑院參謀總長宮殿下を始め奉り、畑陸相、各軍參議官以下一千六百名九段軍人會館に參集、盛大なる祝賀式を擧行した

方代々木練兵場では近代兵器を網羅した大機械戰を開催これに學生一万四千名と九日命名を終へた獻納機を空から參加した

午後は一時半から機械化部隊の市中行進

六時から日比谷公會堂で記念の夕を催し

畑陸相その他名士の講演があつた

此の日支那に於ても

北京、天津、南京、漢口、廣東各地に在留民主催の記念祝賀會を催し

南京では二万人の市中大行進が行はれた

汕頭の掃蕩戰

十日午後南支派遣軍報表

去る二月下旬蟲動を開始した汕頭の殘敵に對し七日夕刻より行動を起した我軍は海軍航空隊及び艦砲の援助の下に敵に壞滅的打擊を與へたり十日までの戰果左の如し

遺棄死體二千五百

捕虜百五十

鹵獲機銃六、小銃五百卅二

社大黨分裂か

社會大衆黨では十日集會を催し齋藤氏除名の當否に關し熱烈なる論議を續けたが、片山哲、岡崎憲、水谷長三郎、松永義雄氏等八名に離黨を要求し、松本治一郎氏へは反省を促す事に決し、阿部黨首も離黨するものは無いと見られてゐる

南洋定期航空

十一日午前九時五十分サイパンを出發した南洋定期航空一番機は豫定よりも早く午後三時十七分橫濱に安着した

海軍航空整備兵

海軍航空隊整備兵豫備練習生を募集する事になり十一日次の如く發表した

資格、工業學校機械科、電氣科卒業生

年齡、本年四月一日現在二十歲未滿の男子

右志望者は

入學願、履歷書、學校長推薦狀、誓約書、戶籍謄本寫眞とを添へ來る十五日迄に橫須賀鎭守府司令長官へ提出すべし

身體檢査は三月廿六日施行

藤田榮介氏逝去

前ルーマニア公使藤田榮介氏は十日午後一時二十七分澁谷區代々木初台町の自宅で逝去した、享年六十歲

氏は明治十四年廣島市に生れ明和五年ルーマニア國兼ユーゴスラビア國公使に就任、バルカン通として知られてゐる、葬儀は十三日午後執行

參事會員改選迫る
日本優勢に英佛足掻く

他方租界の財政紊亂には、法幣の暴落せる今日も、なほ依然外貨を以て俸給の支拂を行ひ全般的に經費放漫に流れ、爲に香港上海銀行に對し一千二百万弗の借款を申入れ、その條件として五割の增稅を要求せられ、これが實行を企圖し

上海共同租界を裁くは？
日本優勢に英佛足掻く

【上海十一日同盟】上海共同租界參事會員の改選は、來る四月十一日を期して行はれるが、右選擧期日切迫に伴ひ、英國側は從來の有利な立場を保持せんとして狂奔してゐるが、日本側は從來の有利な立場を保持せんとして狂奔してゐる、租界經營を合理化せんと銳意これが準備を進めて居り、國際的關心を惹いてゐる

在留外人は勿論、支那人の全面的反對を受けつゝあり、かゝる情勢下にあつて行はれる選擧の結果は、租界行政の根本的動向を示すものとして各方面から注目されてゐる

諸局は、新政權樹立と共に上海が依然その中心たるべきに鑑み、同地に存置する方針であるが、單に中連絡部第一局長は政治の中心となる南京に在勤することゝなる模樣である

上海共同租界參事會員改選
日本優勢に英佛足掻く

【上海十一日同盟】上海共同租界參事會員の改選は、來る四月十一日を期して行はれるが、右選擧期日切迫に伴ひ、英國側は從來の有利な立場を保持せんとして狂奔してゐるが、日本側は從來の有利な立場を保持せんとして狂奔してゐる、租界經營を合理化せんと銳意これが準備を進めて居り、國際的關心を惹いてゐる

在留外人は勿論、支那人の全面的反對を受けつゝあり、かゝる情勢下にあつて行はれる選擧の結果は、租界行政の根本的動向を示すものとして各方面から注目されてゐる

二道河鐵橋再生す
信陽↓漢口を初列車

【漢口十一日同盟】敵が武漢地區撤退に際して破壞した漢口郊外、京漢線二道河鐵橋は長さ百九十三米、中支鐵道再生の鍬佐藤實部隊の手で架橋工事中であつたが、十日完成し、

十一日午前十一時より〇〇部隊長以下參列盛大な竣工式を擧行、同鐵橋を通過した初列車は沿線民衆の歡呼裡に午前一時十二分漢口巡禮門驛に到着した、從來京漢線上下列車は江岸驛より靜安浦口二道河間は輕列車によつて聯絡してゐたが、同鐵道開通により漢口、信陽間は完全に開通を見た譯である

敵遺棄屍五八九二
南支掃蕩戰二月戰果

【廣東十日同盟】南支軍發表

二月六日以降二月中の南支軍戰果左の如し

（實陽作戰を含む、武鳴上市作戰其の他、廣東周邊地區の戰闘を含む）

遺棄死體五八九二、捕虜八八、鹵獲品重機銃九〇、小銃一八〇、その他多數

我方の戰死は七一名である

交戰敵兵力三一四四五

放送態勢〟成れり！
海越え山越ゆ慶祝の音波々々
新政府成立へAK待機

【東京十一日同盟】支那新中央政府樹立の日を間近に控へAKでは新政府成立當夜十時廿五分から約四十分間支那全土及び南洋へ向け祝賀放送を行ふ事になり上海在住の文士芳賀檀が書き下した〝大地殷雷〟胡蝶作の〝天驅〟を選び、十一日午後放送會館で興亞青年聯盟協賛演劇團員の留日中學生七名に依つて此の錄音が行はれた、尙同演劇團はこれを契機に今後AK行つて新東亞建設の宣傳運動から時々支那向け海外放送を

に乘り出す事になつた

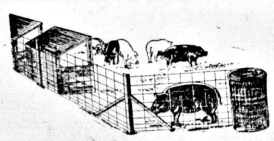
滿洲國獸醫大學
新京に設置

滿洲國では今回新京に畜產獸醫大學を設立することになり同校創立委員長安達謙太郎氏（大陸科學院馬政研究部長）を內地から招聘する教授十名の銓衡その他文部省方面と打合せのため來朝、東上したが車中で記者

新大學は建築及設備費豫算十五万円を計上總長も日本獸醫學校長の在鄉陸軍獸醫中將芦澤愛太郎氏に決定して居り四月に開校する、本科（三年制）四十名、特殊科（二年制）二十名の豫定だ

教授は內地から一流學者を輸入し將來は東洋第一の單科大學にする方針だ

密接な關係ある
養豚と養鯉



養豚場は川の上流の方に、養鯉池は其の下の方に作る

養豚場の飼料や排物は鯉の飼料に利用すれば此位經濟のものはありません

◆種鯉　一打（三、四寸もの）二〇針

◆種豚　カルンシオ種　牝牡一番　四五〇針

送料、送鐵管　二〇ミル

但し二打迄一緒で送られます

養鯉希望者は問合せ次第通知致します

時報商事部

外交員募集

但保証人を要す、月一コント以上の收入あり

聖市ドゥトル・ルンデ街二九

三浦愛書堂

ツビー紅茶の

爆彈進軍譜

獨へ！！
和へ！！
白へ！！
亞へ！！
瑞典へ！！

靜岡製茶技師指導

PROVEM CHÁ TUPI

磯谷鍼灸本院

本流家傳

名灸

聖市ドゥレー街三六八番

富士屋運動具店

Tomizo Takeda
Rua Tamandaré 340

TRADE MARK FUTIYA SPORTING GOODS

劒道防具（內容改善）

劒道防具　一人分　貳百五十針
小手修繕　三十針
小手　十五針

聖市タマンダレ街三四六
電七・六九九六

南米隨一として知られたる

本流家傳 名灸 磯谷鍼灸本院

聖市ドゥレー街三六八番

伯剌西爾時報社

內外各地支社所在地

東京支社　鷲谷精一
東京市京橋區槇町二ノ十

リンス支社　中村滿志
Rua Comendante Salgado, 144
C. P. 203
Est. Lins L. Noroeste

ア・プルア支社　茂木源太郎
C. P. 137
Est. Pres. Prudente
L. Sorocolana

マリリア支社　本多彬
Rua 24 de Dezembro, 125
C. P. E. Est. Marilia
L. Paulista

PHARMACIA IRIS

R. 11 de Agosto, 345 Tel. 3-1032 S. Paulo

一流醫家より定評ある

イリス藥局

（渡邊銃器店上隣）

ARTHUR VIANNA & CIA. LTDA.

R. Florencio de Abreu, 77 - S. Paulo

▲骨利硝石を使用せず廉肥し酸性土壤矯正の完全は謳めません
▲土壤を御送り下されば無料で分析して上げます
▲農具、農藥、肥料
アルフール
ダイアンナ商會
郵函三五二〇
御照會は日本文にて

NIKICHI HAGA

Caixa Postal, 16
BAURÚ

◇バウルー近郊の豐沃なる處女林を

借地こして提供！

目下賣出中の土地より百五十アルケールを限り借地として提供します

◆位置
バウルー市より二十キロ、チビリツサ驛より八キロの近距離にて毎日乘合自動車の往復あり交通至つて便利

◆地質
原始林なるも材木を伐切した土地にて地質肥沃にして万作に適し米、棉作には最適地なり

◆條件
借地料三百五十ミルより四百ミルの三ケ年契約
但し一年後又は二年後希望により賣却の便法あり

◆前貸
契約者の希望により前貸しにも應じます

土地分讓!!

バウルー附近にて目下二ケ所賣出し中ですから御希望の方は左記へ御照會下さい

バウルー市
芳賀仁吉
郵函一六番

本日上りた際

堂々たり!! 世界無敵の貫錄

遊佐工、葉室の快泳

きのふ・興奮の大觀衆

輝く水泳日本のつはもの、齋藤（監督）遊佐、葉室両選手を迎へて沸き立つ水泳ファン數千を集めて國際水上競技大會は　昨十日午後二時半から市内ゼルマニア倶樂部のロング・コースに於て開催された、この日朝來より雨模様、頼る懸念されたが果せる哉競技が始まる頃より本降りとなり、コンディションは最悪下に置かれた從つて期待されたが、それでも遊佐君は自己を五十八秒九で泳ぎ、確實なところを示した、伯林大會當時の最好調期に漸次近づきつゝあるとみるべきであらふ

二百米平泳スタートの刹那（上）とマリア・レンク孃

二百米平泳スタートの刹那（上）とマリア・レンク孃　遊佐君

二百は後半スピード出ず二分十七秒八で切つたが、ストロークの深く二位に入つたオットーの荒削りながら強靭な泳ぎは相當見應へがあつた

葉室君は百を一分十四秒六二百を二分四七秒五で泳ぎ記錄的には寂しかつたが「水すまし」の如くスイ／＼と進む見事なフォームは適世界の期者なる哉と思はしめるに充分なものがあつた

△マリア・レンク孃も百平泳に特に出場タイムは一分廿四秒四であつた

△齋藤監督曰く

遊佐のカムバック——これだけでも故國への充分なお土産です

合宿練習でもしてみつちり泳いだら五十八秒を割ることも至難ではないでせう、葉室は滑り出し悪く予期のレコードが出なかつたが、滿足できぬはどの記錄でもありません、マリア・レンク、それとピエダーヂ兩選手は確かに強い、オリンピックの網をねらふに充分な實力をもつてゐます

△これしきの雨もものかは……超ハリキリの觀衆によつてスタンドは殆ど滿員——前座？をつとめる可愛い〻豆選手達の健氣な泳ぎに和やかな笑ひが湧き、場内の緊張を解きほぐす

△フェデラソンのある男　葉室君と連れ立つてプールの縁を歩いてゐるマリア・レンク孃をみて

——あのふたりを結婚させたらどうだ、素晴らしい大選手が生れるぜ

△遊佐君が出ると「ユザ」「ユザ」——葉室が出ると「アムロ」「アムロ」とスタート台の後方に陣取つてゐた豆選手連〻騒ぎ、はてはスタート台に飛び出して來て兩選手にまつはり附く熱狂ぶりに、役員連制止に汗ダク〳〵

△堅市で一回、サントスで一回、都合スケジュールはあと二回だけ殘されてゐる

十四日のエスペリア大會も大變な騒ひを呈することだらふ

コレ〳〵言葉を愼め！

如才のない兩選手

ベカエンブ競技場訪問

堅市が誇るベカエンブー運動競技場へ去る九日の土曜日午後、陸生聯パヂリア氏ら案内で齊藤氏を初め遊佐　葉室の三氏が訪問した　建設主任パウロ・デ・カンポス氏はこの意外の珍客來訪に大歡悦御自慢の競技場を隈なく案内したが、目下仕上げ工事中の五十米プールは特に念入りに見學、開場式か四月中旬との話に

出來ることなら私共も、この大プールで開所式當日泳げたら何よりの滿足ですが時日が無くて何より殘念です

と仲々美事な外交辭令をやり主任を喜ばした

飯食つて金品物色

しこたま稼いでドロン

五日ミル余の物品を失敬して何處へか逃去つたが朝に

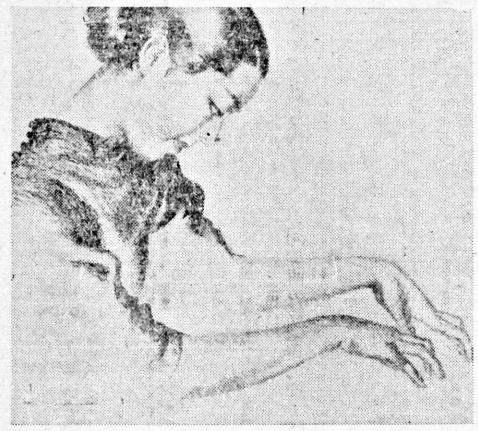
〝時局の寵兒〟マモナ献納

産業中央會の意氣込み

宮城さん 再び聖市に

〝姫君外交〟大成功

一昨夜エスプラナーダで 園子さんサヨナラ演奏



ブエノスからの歸航の途次、を喜ばせ民間外交に百パーセントの成功をおさめた、日本人嬢ひの「エスタード」紙ですら大々的に園子さんの技倆を賞め讃へてゐる程である

歸園子さんはきのふ午前中

その珈琲〓待て〓!!

罪なフランスの軍艦

〝綜合コーヒ〟と銘打つた代用コーヒが今ドイツで盛んに輸入を利かしてゐる折柄、これはまた正眞正銘の純コーヒ四千噸を積載したドイツ貨物船を、過日佛國海軍が拿捕した

前の大戰の時にはコーヒの不足はなかつたのに、こんどはパリでも方々の食料品店に〝コーヒは品切です〟の札がかけられてゐた時なので、これこそヒットラー總統の新年のよきプレゼントとばかり喜らのよろこびは一通りではない

産め〝よ・殖〟せ〝よ〟

但し●お米の競爭デス

ノロ線でのお米の本場は何處？ごく最近の調査によると長年收穫多量を誇り王座を占めてゐたリンスはビリグキに追越され第二位の成績、僅少の差でグワラ、ベスがそれに追隨してゐるがビリグキ扱ひの搬出高は七〇、九二一俵である

これを地方別にすると大体左の如し

聖更線　二五二、九一四俵
パウルー、アラサツーバ間　二三二、〇〇〇俵
酒線チエテ方面　四八、二六三俵
三〇、六九〇俵
麻州　五六三、九二七俵である

穀物相場

【東京十一日同盟】
大豆一、八一五、小麥一二七四、磯安三九四、麩三一二

【上海十一日同盟】
爲替は對英六弗六十四九銭

上海

【上海十一日同盟】
五十米プールは特に念入りに見學、開場式か四月中旬との話に

出來ることなら私共も、この大プールで開所式當日泳げたら何よりの滿足ですが時日が無くて何より殘念です

と仲々美事な外交辭令をやり主任を喜ばした

重要商品市況

三月十一日

	賣値	買値
○パタタ	六〇キロ	
アマレーラエスペシアール	四三、四四、	
○スペリオール	五六、五七	
マンヂヨカ粉兩庇	五八、	
○アルファファ		
キロ	五〇	
小麥粉一級	五〇	
砂糖	以下六〇キロ入	
極上	七〇、七二、五七三、五	
上等	七〇、五七一、五	
○フエジヨン	六〇キロ	
新ムラチンニヨ		
スペリオール	四一、四二	
エスペシヤル	四四、四五	
ボン	五二、五八	
レグラール	五三、五四	
六〇キロ		
ブ・グラード・ノミナル	五五、五六	
レセンヒーム	四一、四二	
六〇キロ		
アマレリンヨ	五二、五三	
アマレロ	五四、五五	
マレロン	五六、五七	
アフロースアグリア		
アマレロン		
エスペシアール	五二、五三	
スペリオール	五四、五五	
ボン	五六、五七	
ブランコ		
スペシヤール	六〇、六二	
スペリオール	六三、六五	
ボン	六六、六八	
レグラール	六九、七一	
○カフエ		
エスペシヤール	四二、四三	
スペリオール	四四、四五	
ボン	四六、四七	
ブランコ		
スペシヤール	六〇、六二	
スペリオール	六三、六五	
ボン	六六、六八	
レグラール	六九、七一	
○セーボラ	リオグランヂ	
六〇キロ		
○ベニヤ	二〇キロ	一九六

時報案内

急募

十五才以上の男子四・五名
月給百五十弗以上
サントス市ルーア・ルイザ・マクク十五番地
電話　七六八六
神山親幸

診療

吟察時間二時より六時迄
ドゥトール・ルイ・フィゲレード
聖市ランヒル・ベスタード十二番四階四〇三號室

日伯歯科醫院

Av. Rangel pestana, 12-3.o and. Salas 304, 305, 306, 307
Esquina do Largo da Sé)
一般歯科
レントゲン科
ピアテルアプ科
口腔外科
歯科醫學士
村上眞一郎
大阪歯科醫學士
林博之
院長
Dr. S. A. Pereira
電話　二三〇五
自宅　電話七三四

野菜果樹歩合作者募集

リオより汽車にて四時間の地點にある耕地氣候は聖市郊外と大差なし健康地日本人一家族在耕トマテ上作出荷中御問合せは左記へ
Rua IX 86 88
mercado municipal
Rio
岩元秀雄

女中さん入用

一、年齢　三、四十才の方　一名
十五、六才より
二十二、三才迄の方三名
一、勉學の余暇を與ふ
右大至急急募集致します
御希望の方は本人來談下さい
聖市ア・マンダレー街五七五
小笠原太陽堂
電話　七・八一一九

求人

本社工場に就働する十七、八才の
青年一、三名
右至急入用に就き御希望者は來談ありたし
伯剌西爾時報社

募集

事務員數名
珠算の出來る者
三十才以下
要保證人
面談時間午後二時より五時迄
コチア産業組合

日本語教師を求む

聖市郊外で日本語教師を求めて居ります
成るべくは夫婦者をとのことですが詳しい事は當方に御問合せの上至急御申込み下さい
三月十一日
ガルボン・ブエノ街四〇七
聖州義塾
小林美登利

辱知諸賢

謹啓　時下益々御清祥之段奉大賀候
陳者ハ生儀家事の都合に由り本月十一日サントス出帆のぶらじる丸にて一時歸國致す事と相成候に就いては在伯中は種々御懇情に與り厚く御禮に際しましては盛大なる御見送を辱ふし有難く御禮申上候
尚祖國滯在は約一ヶ年の豫定にて明年再び歸伯致す所存に有之候に付留守中は何卒御高配を賜り度以紙上失禮御願申上候
昭和十五年三月十一日
敬白
熊谷武雄

歸國御挨拶

聖市百万の〝市民の脚〟電車とバスが無かつたら……どんな騒ぎがもち上ることやら
その節で調査した乘降客が一九三九年中に四億八千二百八十九万四千百八十六人と聞けば、大体その騒ぎの度も判らふと云ふものであ

棉の相場

サンパウロ棉花取引所建値
三月十一日
單位　十五キロ

	買値	賣値
四級	六一、五〇〇	六三、五〇〇
五級	仝　右	仝　右
六級	六一、〇〇〇	六三、〇〇〇

山田齒科療院

聖市パロン・ア・アフト街八九
（中央メルカード際）

旅館 八洲

聖市コンセレイロ
女中さん　フルタード街七〇入用　電話二・六五八三

〝我輩は電車である〟

乘せて走つた市民四億六千余 しかも昨年中にデス

聖市百万の〝市民の脚〟電車とバスが無かつたら……どんな騒ぎがもち上ることやら
その節で調査した乘降客が一九三九年中に四億八千二百八十九万四千百八十六人と聞けば、大体その騒ぎの度も判らふと云ふものであ

兄弟仲よく〝サヨナラの辯〟

淀川電事も同列車で下桟したが、淀川さんは左の如き退伯の辯を殘したいろ〳〵御世話になりました、置土産の言葉——そんなものはない、唯一つ、「兄弟仲よくせよ」と云ひ

〝行つて參ります〟

青春部隊・元氣で出發

〝行つて參ります〟——訪日學生團一行廿一名は昨朝午前十時ルス驛發列車で下桟、夕刻出帆のぶらじる丸を捕へて憧れの國日本へ旅立つた

どの顏にも歓びと感激が滿ち溢れ、學友の見送り人で埋まつた驛頭風景も青春部隊の首途に相應しく賑々しいものがあつた　一しきり、ぞんざいだが情の籠つた言葉が遣り取りされた後

——行つて來い！
——行つて來るよ！

と歓聲沸く裡　僚らを乘せた列車は徐々にプラット・ホームを離れて行つた

同列車には歸朝する淀川電事も乘つてゐたので坂根さんを始め總領事館のお歴々プラ拓、海興その他の商社代表が詰めかけ驛頭は非常な賑ひを呈した

作良氏も下桟した

らじる丸で一時歸國の途に就いたが昨冬見送りの爲め羽

CASA BANCARIA BRATAC CASA BANCARIA BRATAC CASA BANCARIA BRATAC

Redação - Rua Fagundes, 196
Telephone 7-4670
Caixa Postal, H
Director M. SAMESIMA

NOTICIAS DO BRASIL

Proprietario SEISAKU KUROISHI

Assignatura Anno. . . .60$000
" Semestre. .30$000
Numero do dia . . . .300 reis
Gerente S. KUROISHI
Redator-chefe M. YENDO

ANNO XXIII — S. Paulo, — TERÇA—FEIRA 12 DE MARÇO DE 1940 — DIARIO No. 2128

O governo finlandez annunciou officialmente a partida de uma delegação encarregada de negociar a paz em Moscou

HELSINGFORS, 10 (Domei) — O silencio official sobre as conversações de paz russo-finlandeza foi quebrado finalmente, esta noite com a publicação de um communicado official redigido nos seguintes termos:

«Ha alguns dias, os governos da Russia e da Finlandia entraram em contacto atravez dos bons officios do governo sueco, com o objectivo de examinar as possibilidades de estabelecimento da paz.

Entretanto, ambas as partes reconheceram a utilidade de conversações directas.

Tendo o governo sovietico convidado representante do governo finlandez para ir a Moscou, afim de iniciar as discussões de paz, a delegação finlandeza, composta dos srs.

Ryti, Paasikivi, general Walden e deputado Voionmaa, partiu para Moscou na ultima quarta-feira, á noite. A delegação finlandeza já teve duas conferencias com os representantes do governo sovietico.

Nessas occasiões os representantes finlandezes tomaram nota das condições sovieticas de paz.

Até o presente momento, nenhuma decisão foi tomada pelo governo finlandez.»

ALCANÇADA A BASE PRELIMINAR PARA UM ACCÓRDO

LONDRES, 10 (Domei) — Segundo informa a «Radio Rom» foi alcançada a base preliminar para um accôrdo russo-finlandez, e o Sr. Ryti um dos delegados da Finlandia, já se acha a caminho de Moscou, onde deverão proseguir as negociações. O locutor da emissora italiana declarou que as novas propostas russas não importam sacrificios demasiado grandes aos finlandezes, uma vez que estes concordassem em perder o isthmo de Carelia e o porto de Petsamo.

Todavia, os finlandezes continuam a recusar a cessão do porto de Hangoe e da região situada ao norte do lago Ladoga.

Edição Brasileira

Traducção dos artigos principaes em lingua japoneza

O sol que desponta... (1)

Continuação

Harold Butler, que foi Presidente do Departamento Internacional do Trabalho, em Genebra, adiante que o Oriente é o scenario contemporaneo de vastas transformações economicas.

O que ahi se passa, os factos que ecclodem em seu seio, são de tal magnitude que se tem mesmo o direito de affirmar que somos os espectadores de uma revolução authentica, abalando e renovando os alicerces multiseculares dos povos que o habitam.

Essa revolução economica, no emtanto, nada mais é do que a expressão material da revolução espiritual, que delle se apoderou.

Da Turquia ao Japão, perpassa um sopro de vida nova e creadora.

Ao passo que a Europa se entrega a um de seus paroxysmos periodicos e suicidas, a Asia está sendo dynamisada por correntes de uma vitalidade profunda.

Os effeitos dessa metamorphose não serão immediatos.

Não se modifica da noite para o dia o «facies» de todo um Continente. O que, importa, porém, é o espirito que preside a esse movimento. O grande factor de transformação das sociedades asiaticas, no emtanto, qual é elle?

A machina e a industria.

†

Butler cita casos interessantes, exigindo meditação.

O Japão, por exemplo, desde 1919 é um poder industrial de priteira classe.

Trata-se de uma nação onde quasi que não existe analphabetismo, de baixopadrão de vida, industrializada ao extremo, e impulsionada por idéas mysticas de ascendencia não apenas asiatica senão tambem mundial.

15 milhões de nipponicos extrahem a sua subsistencia da industria, do commercio e dos transportes, o que por si só, documenta a transcendencia desse agente de affirmação historica do Archipelago nos dias que correm.

Mas, a «corrida para a machina» não é apanagio apenas do Japão.

Na India, 26 milhões de pessoas estão tambem associadas ao seu metabolismo industrial.

A China, por outro lado, dispõe de condições adequadas para ser um dos maiores districtos manufactureiros do pacifico.

Se considerarmos, ademais, que o Egypto, a Persia, o Afganistão, a Russia, estão adoptando programmas de desenvolvimento industrial, comprehenderemos, então dois phenomenos curiosos: a fabrica é o motor por excellencia de sua palingenesia, e o industrialismo vigoroso desses povos repesenta e significa a mobilização de forças que, mais tarde, desafiarão, e quem sabe se comprometterão mesmo, o primado do homem europeu, desde o seculo XVI até á alvorada de nossa éra?

Não nutramos portanto, illusões sobre a gravidade dos acontecimentos, tal que está sendo theatro grande numero de Estados asiaticos. A guerra de 1914 fez surgir, por uma clara imposição do destino, novos elementos de rebeldia contra a tutella do homem branco.

A de 1939 apressará os deslocamentos economicos e politicos, que começaram no alvorecer do seculo XX.

Na Asia, na America, surgiram e surgem novos mundos em estado de opposição ao nucleo europeu.

Os povos que o Velho Continente outrora dominou, em cujo amago disseminou o seu sangue a sua technica, a sua cultura, revigorizados pelo humus europeu, renascem tal como as planicies do Egypto, depois das enchentes fecundantes do Nilo.

Serão factores e centros de vida propria e autonoma.

Talvez não tarde muito, e a estepe, e o Pacifico, e o Indico, converter-se-ão no verdadeiro centro do industrialismo universal.

Se a Europa não vislumbrar em tempo que a sua taboa de salvação conciste no federalismo economico e politico quem impedirá do, amanhã, transformar-se ella em tutelada das civilizações sobre as quaes, no passado, estabelecera uma politica de predominio que se lhe affigurava permanente e duradoura?

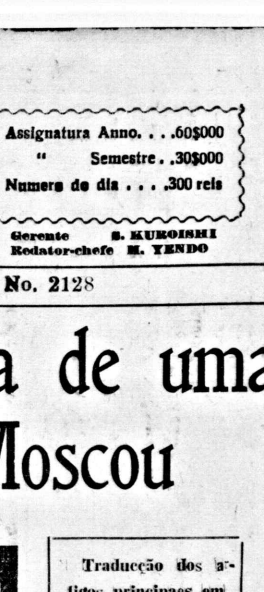
O NOTICIARIO ESTRANGEIRO DO «NOTICIAS DO BRASIL» E' FORNECIDO PELA AGENCIA TELEGRAPHICA «DOMEI» JAPONEZA

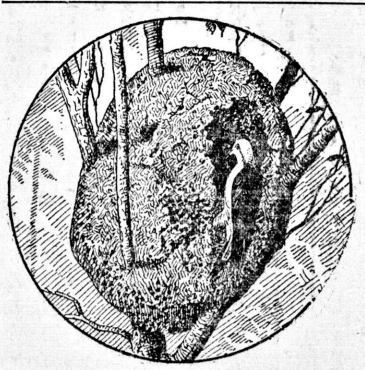
脂は外攻あ開いこ機も属カイ害芽芽駆

油桐にも害虫發見

サウバ以上の野生蜂

新芽、小果を食ひ荒す





駆州の春九、十月頃蜜柑の新芽、若葉、蕾花、小果及び春芽を襲ひ銀形に噛み切つて大害を與へる小蜂がある。名はイラブアン、又はアベリアデカショロといひ、小型で丸く真黒、手に取つても別に刺しもせぬ、馴しい蜂であるが果樹園、殊に蜜柑屋にとつてはこんな恐ろしい害虫は澤山ない、春芽新芽時に飛んで來る關係上、サウバ以上の惡蟲である

攻撃する蜂は雄有の樹脂を分泌するものに限り、此の蜂は切り取つた傷口から出る樹脂を集めて巣を作る材料にするわけ、この點サウバとは大り、其被害が最も激しい、巣は大木の高いところに大きな丸形の巣を作る（挿圖）表面は茶褐色をしてゐるから、家の窓等に良く巣を作る腰細蜂とは一見して見分けがつく巣の表面は薄い紙があることも特長である、仕末に悪いことには飛距離が遠く、然も一寸人手が届かぬ關所に巣があることであり、直接驅除は相當困難

近年勃興を初めた油桐も、樹脂を出すことから、この蜂による大害があることが判つた、油桐は幹も小さな果が喰ひ散らされ、被害甚大、著く業者を慌てさせてゐる

驅除法としては消極的乍ら次の點丈を用ひる

粉末硫磺　三〇〇グラム
糖蜜　五立
水　一〇〇立

製法は水少しで硫磺塩を捏ね糖蜜と水で伸し、イラブアンの害がある春先きに、小芽小果の附近に撒布して置く、蜂は新芽を切りに來た際、好物の糖蜜に釣られて命を喪す仕組みである

個自然敵としては、きつゝきが直接巣を壊してこの蜂の幼蟲及びさなぎを食ふ又ブラジル蜘イラもこの蜂の巣を襲撃する一つとなつてゐる

農經

通商條約廢棄

反對の聲

北米棉界も憤激

對日武力威嚇を排撃

日米通商條約が失効した一月廿六日以後、米國南部諸州の棉業者は無條約下の日米關係が悪化することを極度に恐れてゐるが、殊に棉の大集散地ニューオレアンズの仲買商を代表しベン・J・ウイリヤムス商會主ベン・J・ウイリヤムス氏は同地有力紙コットン・トレード・ジヤーナルに左の論文を掲げ注目をひいた

米國の棉産地は今や經濟的に自給してゐる、わが南部諸州は貿易を破壊する關税の犠牲となつて長らく苦しんで來たが、今やワシントン政府は再びわれ〳〵の頭に鉄槌を加へ、たださへ制限されがちな産業をさらに萎縮せしめ無數の市民をして生計の途を國庫からの補助に求めるのやむなきに至らしめんとしてゐるこれは今回の日米通商航海條約廃棄である、政治の駆引に犠牲にされる實際經濟を無視する不健全な政府の處置はすでにわれ〳〵の為政者の處置はすでにわれ〳〵の為政者の處置は

新棉出廻り初む

流石の長雨も晴、好晴續きにさせられてゐた棉も元氣回復果然調子を取り戻し、ボツボツ駆市取引所へ出初まつた、第一俵は日本人の手で出したかつたが、惜しやサンカルロスから出て伊太利人に第一陣を奪はれた、二月末までに相當はられず氣迷ひ氣味、六十二三ミル所で手打ちが行はれてゐる

三白余万キロだつたが、今年は多分三億九十万キロ程に達するだらうと、關係各方面は張り切つてゐる現在は品物が余り澤山は無いこと、先行き不明で、玄人すぢまで相當輸入品として供給圓滑は、煙草以上に人氣を博し初めたこのため佛白國境閉鎖さるるわけ、この點サウバとは大行き方が違つてゐる、盛に増殖する季節が丁度春先に當

ゴヤバ新登場

時代に即應して優良果物となる

佛國産果物中最も普遍的にあるゴヤバが近頃大分注目を惹き初めてゐる、原因は蜜柑が非常に高値氣分のところへ、歐洲戦争のため輸出途絶ち、思案に余つた結果、他ならない、元州農事試驗場果樹關係者は隨分古くからゴヤバの種を取寄せ研究してゐた、既に色々と面白い結果を得てゐる樣である、佛人一般は單に果肉の色によつて赤、白の二種に分けてゐるだけだが、詳細な研究の結果では隨分澤山種類があるには記者も驚いた

經濟的に見て此の果物は、元來佛國野生品だけに、頑健無比、土地を選らばぬこと、一回取穫があり、生果としてよりは菓子（ゴヤバーダ）として市場に出すため、保存が出來、他の果物の如く市場を荒す心配が無い等が非常の注目を引く原因である、栽培經驗からの實績では種を下してから四年目で初果を見、七年で充分生産が擧る實生樹は一本々々性質、果實、生産量を異にしてゐることも他の果樹同樣、良種の接木を必要することも、他の果樹と變るところはない、接木法は二年目物に幅狀剝皮で行ふが最も良い、接木苗は三年目から生産を初める

一本生産量は良種では十キロに及ぶが、劣悪種は三キロにも滿たない程大差がある、五米の間隔最も良い、畑は大都市の附近であることを條件

人參の植換えやれば出來る

人參に移植が出來るか、農關子某植民地で實驗を受けたことがある、正に大出來二回適期がある、

一、本葉が四、五枚出た頃間隔一寸の日を選ぶ、火箸金串の類を以て、間でねばりを持つた土に深く細い穴を穿つこれに靜かに拔いた若苗を植えると百發、百中、別に二次根とならず成功す

二、種を取る際、先づ地上部の葉を極短く切り棄て、根を傷つけず丁寧に掘り取り形よいネマトーダ等の害に犯されてゐないものだけを移植、充分灌水、乾いた草で蓋をする

右以外の時季は移植は意味をなさず、根を傷つけるだけ

農家便覽

◆北米石油會社が廳々人造ゴム製造を初めた ゴム産出國は青くなつてゐる

◆リオ市面では今だに日本が佛領の最上客と聞かされてビックリする者が神山

◆日印通商協定が流れてたまらないのが御膝許の佛國

◆四〇年度新第一俵は、サンカルロスから五日駆州市場に到着試傳商内が行はれ、大した人氣であつた

◆カフエー佛國から、歐洲では密輸入品として供給圓滑は、煙草以上に人氣を博し初めたこのため佛白國境閉鎖さるる

◆日印通商協定が流れてたまらないのが御膝許の佛國

◆

燃ゆる星座

（映畫化）

尾崎士郎 新井五郎

（八十五）

ジョンスキー（十三）

「猪狩君が「世に敗くもの」といふ題名で書いてゐるんです。もう過半出來てゐるさうですが、これが素晴らしい傑作らしいんです。丁度文藝復興とか何とかいはれてゐる際ですから、これを出版して見ちやどうです」

島田清次郎の「地上」のやうな例もなくはないが、いくら傑作だからといつて無名作家のものがそんなに賣れる譯はない、出版者當識ともいへるそれをまさか知らぬ顔はあるまいと風はれる吉岡が親心にすゝめるので、内川は飲みかけた杯を下において聲字と考へこんだ

「やらう」

内川は長い沈默の後でさういつたが

「いや、やりませう」

それには内川は輕く首いたけで

「——九百枚を六十で割ると十五と、……日に十五枚はちよつと無理かな」

そんな自問自答を繰返してから

「猪狩君、來月いつぱいには出來ませんかな」

「來月いつぱい？——」

さう反問しながら他の頭には一瞬間いろいろな思ひが走馬燈のやうに渦巻いた——來月いつぱいといへば今月はもう十日程過ぎてゐるから正味五十日余しかない。その間に九百枚！これは相當無理な仕事だ。成程、達也は書き出せば日によつては四十枚も五十枚も書ける日が無いではない。しかし、その後には必ず一週間も十日も精々書けて一枚か二枚、日によつては全然書けぬこともある。だから平均を取つて見ると、矢張り一日に十枚か十二枚位であらう五十日間に九百枚書くとなると、先づ優に二十枚は書く決心をせねばならない。果してそれが自分には出來ないだらうか？それに季節も六月、七月といふ自分には一番苦手な時である。うまいやり度いがやれるかしらん？喜びに浮ついた氣持が、さてそんなふうに醒めた我と我能力への危惧に達也の心は夕立前の空いやうに暗憺となつた

「如何です無理ですかな？」

無理を承知でいつてゐる内川は にやにや笑ひながら達也をながめてゐる

達也は不圖、鐵は熱してゐる間に打てといふ古い諺句を思ひ出して

「とに角やつて見ませう。出來るか出來ないかは自分にもわかりませんが、必ずベストはつくします」

達也のこの答へは内川をひどく喜ばせた

◇飼料

◆產卵牝鷄完全飼料　一俵　二一、〇〇〇　同
◆雛用完全飼料　同　三〇、〇〇〇　同
◆フランゴ用完全飼料　同　二八、〇〇〇　同
◆レフイナジール　同　二〇、〇〇〇　同
◆肉粉（五三%）　同　五〇、〇〇〇　同
◆同（四二%）　同　三五、〇〇〇　同
◆骨粉　同　三五、〇〇〇　同
◆貝粉　同　一八、〇〇〇　同
◆血粉　同　六〇、〇〇〇　同
◆トリギリヨ　一俵　一、五〇〇　キロ
◆フアレクシニヨ　同　二〇、〇〇〇　一俵
◆フアレリヨ　同　九、五〇〇　同
同　九、〇〇〇　同

◇養鷄用藥品

◆羽蟲退治—除蟲菊粉（日本製）一カン　一五、〇〇〇
◆鷄舍消毒剤リゾフオルム　一カン　七、〇〇〇
◆流行性痘瘡防注射液　六〇羽分　五、〇〇〇
◆羽蟲退治用タバコ粉末　キロ　一、五〇〇
◆ゴゴリナ（ゴゴ病に）　一ビン　五、〇〇〇
◆鼻カタル治療藥　同　六、〇〇〇
◆ジフテリヤ豫防注射液　同　五、五〇〇
◆鷄コレラ豫防注射液　同　五、〇〇〇

◇養鷄用具

◆金網—一、八〇センチ米につき　四、五〇〇
◆金網製作用針金　キロ　五、〇〇〇
◆脚帶—アルミニユウム製　十枚　二、六〇〇
◆去勢器　一揃　百十五ミル
◆孵卵器、育雛器—ランプ等は問合せ次第御通知の事

有利副業

養鷄

時報商事部

海興銀行
CASA BANCARIA IMIGRATORIA LIMITADA
São Paulo — Registro
Pedro de Toledo

Eng. JAIR A. HORTA
Rua da Gloria, 108 - Tel. 2-8051
S.o Paulo

"オルガノ"
有機植物性完全肥料
カンピナス農事試驗場
分析證書号　第三八七一一號
綠肥の優秀さに勝る萬作向き新優良肥料！
御注文及御紹介は
エンジネイロ
ジャイル・A・オルタ
聖市グロリア街一〇八番